

防災講演会に参加されていた松戸船橋市長が、公開運用をしていた非常通信連絡会のブースに立ち寄られましたので、JJ1YNAを運用していた連絡会の会員と懇談した後で、松戸船橋市長と一緒に記念撮影をすることが出来ました。

また、防災講演会に出席されていた安藤危機管理監もお忙しい中連絡会のブースに立ち寄られました。

雨の中にも関わらず防災フェアに参加された

連絡会、クラブ員は18局でした。(順不同) JS1IWA、JH1RFU、JG1DVY、JF1XPH、JA2SWH、JH1MQC、JA7THE、JA1TRM、JA0EDI、JI1FCY、JA2MGL、JG1KLG、JI1KCU、JS1GXN、JL1CML、7L3QNB、JA1XQC、JA1WHD

また、市内のアマチュア無線局JG1LHB飛田さんも連絡会のブースに来られました。

行事担当JA1WHD 稲村



平成27年度防災フェアふなばし 記念撮影

記念撮影のお詫び

JA2MGL 和田様がフレームから外れてしまい大変申し訳ありませんでした。

2016・1・16 製作講習会

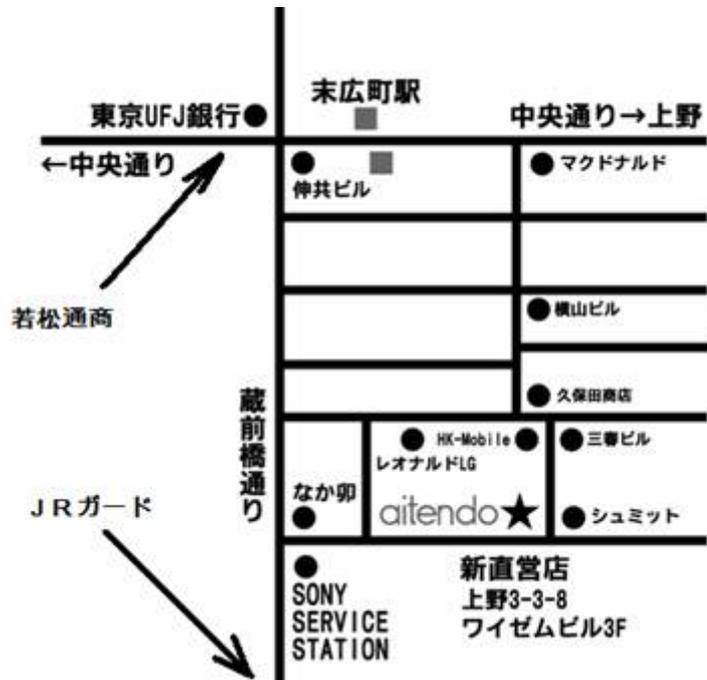
AITENDOのキットに触れていただくため

アンフ付きFMラジオ AKIT-307 を製作しました。

約5年前に突如出現した通販店。後にできた直営店は恐ろしくわかりにくい場所にありました。そして、1年半前、お店は移動し、広くなりましたが住所は東京都台東区上野3-3-8 ワイゼムビル3Fです。
あ、上野です

AITENDO (アイテンドー) 直営店 ↓AITENDO ホームページより

AITENDO (アイテンドー) は、事務所街の中、マンションの3Fにあります。
とにかくわかりにくいので、今はビルの入口にでっかく看板が出ています。
この3Fの店が直営店。
地下にあるのが通販部。3階にはトイレもあるので御心配無く。
電話は両方共通なので、たいてい、通販部が取ります。
運営会社は 株式会社秋葉原 約5年前に創業。実はこの社名には不思議な由来が・・・
秋葉原の事情を良く知っている人が創業したとしか思えません。



※並べ方は雑な部分もある

在庫品は販売品の上の段ボールなので、見当たらないときは訊いた方が早い！

<販売品は5種類>

- 1) 部品
- 2) 半製品 (無線タグの基板とか。433MHz の物も多数あり、ただしASK)
- 3) 部品の部品 (電池ボックスのバネだけとか)
- 4) オリジナルキット・オリジナル基板
- 5) 部品を補助する部品 (バリコンのシャフト延長棒とか)

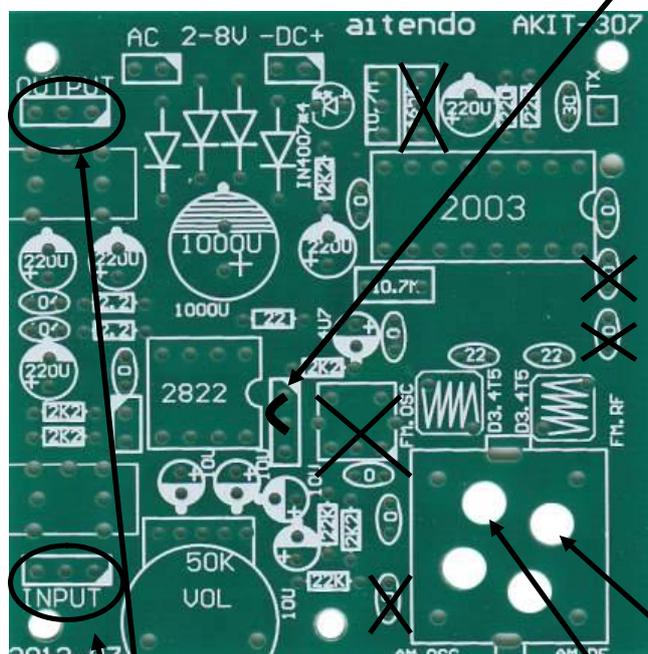
キットには説明書はつきません。部品も基板上のものしかつきません。また、キットの動作についての説明はありません。

だから、「慣れ」が必要です。通販WEB ページも見ましょう！

これはオリジナル基板も同様。たとえば、「びんぼうでいいの」は、500円！と価格は安いですが、別途入出力用コネクタなどの部品パック(250円)が必要。

実装基板

上二つの間を、切った部品の足を使ってジャンパ



電池BOXへ アンテナ線
接続 (ピン付き1本リード)

ここは何も取り付けない(またはピンを立てる)

YXマークはこの位置

パツ印の処には、部品は無い。

OSCトリマ RFトリマ

<このキットは、上記の注意点・下記の調整方法を知らないとうまく製作できません>

調整方法まず、IC 2個を外した状態でショートの確認。

次に IC 2個の端子の電圧確認 2003 では、14ピンに電源電圧。

2822 は2ピンに電源電圧。他はその半分以下、もしくは零。

IC なしで消費電流の確認ほとんどゼロ→IC を刺して消費電流の確認 数十mA ならOK

イヤフォンを差し込んでバリコンを廻して、地元局 (BAY-FM) を受信

これが、羽がほとんど入った状態になるようにバリコン下、基板裏から見える OSC トリマーを調整

もう一度 BAY-FM を受信して最大音量&LED 点灯が最大になるように隣の RF トリマーを調整

次に、羽が完全に入った状態で放送大学 (76MHz) を受信できるように OSC トリマーを調整

この時最大感度になるように RF トリマーを調整

更に、羽がほとんど抜けた状態でニッポン放送 (93MHz) を受信

この時最大感度になるように RF トリマーを調整・RF トリマーは全放送で平たん感度になる点を探す。

出席者は JL1CML, JI1AIU, JA7THE, JG1KLK, JA2SWH/1, JA1WHD, JS1IWA, JA10EV, JS1GXN, JF1XPH, JA2MGL (+JJ1GRK) の、皆さんでした。お疲れ様です。

技術指導担当 JJ1GRK 高木

私の7MHz CW 移動運用スタイル

J A 2 SWH 佐竹康雄

現在の家に引っ越してきた頃は南側が畑で無線に影響のあるノイズは近くの送電鉄塔の碍子から出ているであろうと思える放電ノイズだけだった。湿気の多い日や小雨が降りだすと「ジー」という音が送電鉄塔方面から聞こえ、受信機のSメータを見ると9+まで振っていました。周りに家が増えるに従いノイズはどんどん増えて最近ではノイズで常時S9付近まで振るようになってきました。こんなこともありノイズの少ない運用環境で思いっきり無線を楽しむことに魅力を感じるようになりました。

数年前からは春と秋に白馬山麓や八ヶ岳山麓に海外でハムを楽しんだ仲間と移動を行ってきました。この運用では「湯けむりアワード」を狙っている方々へのサービスとして温泉地から7MHz CWの運用を行っています。移動運用設備はちょっと大がかりで6mポールに7MHzのダイポールを張り、テーブルを出して(日よけのパラソルも登場)リグとパソコンを載せ、発電機を使って運用しています。(下記写真参照)

この運用のためには機材も大がかりになりますが、設営もサポート部隊を含め数名で行い現地到着から運用開始まで30分以上かけておこなってきました。また、大がかりなアンテナを設置するため駐車場の管理者にも許可を得てから、運用してきました。



堤防上でテーブルを広げ運用



駐車場で7MHz DP張って運用



山の上で430MHzの運用

1. 最近の移動運用

最近になって移動運用仲間から「もっと手軽に運用できないか」との声が上がってきたので少々工夫してみました。①短時間で運用準備ができる、②テーブル、椅子等の設置をしなくても手軽に運用できる、③持参する機材が少なく済むことを目標として年末休みなどに考えた結果が今回ご紹介するものです。

最近の運用では現地に到着してから約10分以内(実測)で運用準備は完了し電波を出し始めることができます。撤収作業も同様です。ホイップアンテナ+車載リグ+バッテリーを使い、短時間で準備を行い短時間にパイルアップの中で運用し半日程度で帰宅するといったスタイルにしました。また、駐車スペースさえあればアンテナは車の上に取り付けるだけなので特に設置/運用許可をとることなく運用できます。

このスタイルで運用を始めてから行ったJCCサービスの運用実績は次のとおりです。

- ① 愛知県知立市(1/2) : 21局
- ② 千葉県習志野市(1/10、1/24、2/6) : 140局
- ③ 千葉県船橋市飯山満(1/16) : 14局
- ④ 千葉県印西市(1/17) : 16局
- ⑤ 千葉県白井市(1/31) : 20局
- ⑥ 千葉県八千代市(2/28) : 29局

これらの移動運用のうち3か所から行った運用風景は下記の写真をご覧ください。



習志野市 谷津干潟Pからの運用

知立市 逢妻川土手から運用

白井市 市役所前から運用

2. 移動運用設備の設置状況

移動時のオペレーションは車内の助手席で行ないます。助手席のグローブボックスの前に設置できる2本脚の運用テーブルを自作しました。脚は取付け/取外しが簡単な25mmのパイプを使い最初はシフトレバー側の脚を取り付けておき、着席した後でドア側の脚を取り付けます。

テーブル上にはHamlogをインストールしたパソコンを置き、CW用パドルとマウスを置いています。トランシーバ(FT-857DM)本体は座席の下に設置して前面パネルだけを拡張ケーブルを使ってシフトノブの横に設置しています。トランシーバの操作パネルが自分の正面でなくちょっと離れた位置にありますが運用が始まるとボリューム以外はほとんど触らないのでまったく不自由は感じません。

電源については自動車用バッテリー(12V38AH)を持参してこれから電源を供給して運用しています。運用後、帰宅したら直ぐに充電器を接続し、次の運用や非常時に備えています。



アクアの助手席から運用中

自作テーブルにPCと小型パドル

リグはシフトノブ横に設置

3. アンテナ

アンテナについてはアメリカOUTBACKER社のOB8(全長約1.8mのマルチバンドヘリカルホイップ)を使っています。このアンテナはショートワイヤの差し込む位置を変えるだけでバンド切り替えできる構造になっています。使用可能周波数は3.5~28MHzの8バンドですが専ら7MHzを使用した運用をしています。このアンテナは車の屋根の上にマグネット基台で設置しています。先端に取り付ける15cm余のスティックを出し入れしてセンタ周波数を調整できます。下記写真の緑の線がセンタ周波数を7.025MHzに調整した場合で1cmずつ短くすると約20kHzずつセンター周波数は動いていきます。写真では青及び黄色の線がスティックを1cmずつ短くして測定した時の結果です。

アンテナの性能を十分に発揮させるためには良好なアース(ラジアル)が必要です。自宅に設置する場合は金属製の手すりが良好なアースであれば電波は良く飛んでいきます。車の場合はボディをアースとして使用するため「マグネット式アース板」(A4サイズ)を使用しています。



マグネット基台にOUTBACER アンテナ 1cmで約20kHz 変化する アースはマグネットアース板

マグネット式アース板は自作しています。JA7THE 遠藤さんから教わったアース板はマグネット板に薄めの銅板を貼り付けその上にさび止めのためにアルミシートを張っています。

100円ショップで購入したA4サイズのマグネット板にホームセンターで購入した銅板(厚さ約0.1mm、A4版で価格は約700円)をボンドで貼り付け、その上に台所用のアルミシート(アルミ粘着シート。約200円)を張っています。材料代は合計約1000円です。市販品(ダイヤモンド製。約2500円)に比べ大きさは3倍近くで値段は半額以下のマグネット式アース板が出来上がります。



アースはアンテナ下部へ接続 アース接続用の目玉クリップ 自作アース用マグネットマット

このアース板をアンテナに取り付けるためにはアンテナ基部に加工品の目玉クリップで取り付けられています。100円ショップにて2個100円で購入した大きめの目玉クリップの両端を金鋸で切断し、余計な部分まで挟み込まないような接続用クリップを自作しました。切断に手間がかかりますが安価で出来ます。

このアース板の有効性を確かめるためにアース板を取り付けた場合と取り付けない場合のSWRを測定してみました。結果は取り付けた場合が7.025MHzでSWR=1.5だった値がアース板を取り外すとセンタ周波数が一気に約100kHz上にずれてしまいました。7.025付近でSWR=1.5だった値が3以上になり7.150MHz付近がSWR最低点になっていました。

4. QSLカード

この運用スタイルでQSOしていただいた全国各地のハムの皆さんには、移動運用した場所がわかる写真入りQSLを発送するようにしています。写真入りQSLは目的の場所に確実に移動して運用したエビデンスにもなると思います。またどんな雰囲気の中で運用していたのかも伝えることができます。

下記に白馬・八ヶ岳移動に行った仲間と作成したQSLと最近行った船橋市に隣接する市でのJCCサービス運用のQSLを下記に載せますのでご参考にして下さい。



温泉地に移動した時のQSL JCCサービス時のQSL 最近発行している筆者のQSL

今後も船橋市付近の各市から7MHz CWで移動運用したいと思っています。名古屋帰省時には名古屋近郊の街からJCCサービスの運用(7MHz CW)をしようと思っています。聞こえていましたらコールしてください。

事務局からのお知らせ

■ 新入会員の方について

- ・JA2MGL 和田 様（2月3日入会） 本町在住

■ 免許状の更新について

半年以内に有効期限が切れる局

- ・JA10EV 伊藤 様 ・JJ1GRK 高木 様 ・JA1XQC 岩橋 様

既に免許が切れている局

- ・7M1FDP 坂本 様

○免許の更新について忘れずに、手続きをお願いいたします。

また、局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付してください。写しの提出をもって更新の確認といたします。

（平成28年3月1日現在）

事務局担当：危機管理課 武井

定期総会のお知らせ

船橋市アマチュア無線非常通信連絡会と、船橋市アマチュア無線クラブの定期総会が次のように決まりました。

詳細は、別途ご案内しますが日程調整のほどよろしくお願ひします。

日時：平成28年4月24日(日)10:00～12:00 船橋市役所 11階大会議室にて

編集後記

・最近壊れたものとして保管していた FT-101 を通電したところ、短時間でコンデンサーが破裂したので処分することにしました。ついでに TS-700(これは使えるけど)も嵩張るのでスッキリさせるため、併せて処分しました。捨てるのではなく、たまたま、ネットショップで50/144/430のハンディ機が出たので下取りに出して差額を払い、5Wハンディ機に生まれ変わりました。

FT-101は送信管が2本ありますが、前から予備として確保しておいた6JS6Cが部品として2本、記念として残っています。余談ですが、秋葉に出かけたときに6JS6Cの価格を調べますと1本5K円でした。

発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ 担当 JS1IWA

船危管第1167号
平成28年2月4日

船橋市アマチュア無線非常通信連絡会
会長 矢野浩一様

船橋市長 松戸 徹



「平成27年度防災フェアふなばし」開催について（お礼）

余寒の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素から、本市防災行政につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1月30日（土）に開催いたしました「平成27年度防災フェアふなばし」に、ご多忙中にもかかわらず会員の派遣を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも防災行政の推進並びに防災意識の普及向上に努めてまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、書中をもちましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

連絡先

船橋市 市長公室 危機管理課
担当：小林、西澤、武井、半谷
TEL：047-436-2039
FAX：047-436-2034